

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

和歌山県立医科大学外科学第2講座での国内研修を終えて

聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科

梅澤 早織

この度、令和5年度日本臨床外科学会国内外科研修制度により、令和6年1月28日から2月8日までの2週間、和歌山県立医科大学外科学第2講座で研修をさせていただく機会を頂戴しましたので、ご報告いたします。まず、研修を快く受け入れてくださいました川井学先生をはじめ、肝胆膵チーム・和歌山県立医科大学外科学第2講座の教室員の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は、聖マリアンナ医科大学で学生時代・初期研修を過ごし、消化器・一般外科へ入局しました。入局後5年目になり、大学人として、臨床・研究・教育に対して今後どのように向き合っていくべきか、毎日の業務と奮闘しながら考えているところです。そのようなタイミングで今回の国内研修の機会をいただきました。和歌山県立医科大学外科学第2講座を志望いたしました理由としては、肝胆膵外科有数のハイボリュームセンターであると同時に、研究にも力を入れておられ、「Academic Surgeonの育成」という方針に魅力を感じたからです。実際に臨床・研究・教育がどのようなさされているかを見学させていただくことで、外科医として、大学人としての知見が深まると考えました。

研修中は、手術への参加をはじめ臨床研究カンファレンス、リハビリテーション見学、医学部生へのレクチャーなど多方面の経験をさせていただきました。

初日から早速膵体部癌に対する幽門輪切除膵頭十二指腸切除術の第3助手として手術に立ち会う機会に恵まれました。まず衝撃を受けたのは、最初の開腹から医学部生が積極的に参加している姿でした。育成にも力を入れている文化を肌で感じることができました。一口に「膵頭十二指腸切除術」と言っても、アプローチ方法や口側切除範囲、再建方法など様々な方法が学会や研究会などで報告されています。それぞれの手技については、手術ビデオなどを視聴することはできますが、実際に手洗いをして間近に、かつ執刀医の先生からポイントを教わりながら間近で手術を見学させていただくという機会は得難く、とても学びの多いものでした。毎週火曜日の朝は前週の手術の術後検討会が開催されます。1症例あたり2-3分で主治医の先生が手術記録を供覧しつつプレゼンされていました。まるで1症例1症例が学会の症例発表かのような、とても詳細で丁寧なものでした。中でも深く感激し感銘を受けたのは、手術記録に記載されているスケッチの精緻さです。教科書に載っているスケッチかと思紛うばかりでした。水曜日・金曜日の朝は術前検討会が開催されます。上部・下部・肝胆膵・小児チーム合同行われる術前検討会で印象的だったのが、いずれのチームも臨床試験への参加症例がとても多いことです。さらに、参加症例となっていない症例についても、なぜ参加していないかの情報共有も同時に行われていたことが、積極的に臨床試験へ参加する文化の醸成に繋がっていると感じました。2月6日には3~4カ月毎に開催される臨床研究カンファレンスにも出席する機会に恵まれました。本来であれば、臨床研究カンファレンスの開催はもう少し先であったようなのですが、私の研修に合わせて開催を早めていただいたとのことで、大変貴重な経験をさせていただきました。各チームから他施設共同からインハウス研究まで現在進行中の臨床研究の進捗状況が報告されていました。朝のカンファレンスや回診での根拠に裏付けられた議論はここから生まれたものなのかと、和歌山県立医科大学外科学第2講座のアカデミックな文化の真髄を見た思いでした。

また、研修期間中に周術期のリハビリテーションについてもお話を伺うことができました。驚いたのは、

1種目20-30分程度のリハビリを4種目行うメニューを午前・午後と行うなど、内容がかなりハードだということ。そして、そのスパルタなメニューを患者さんがこなすためのサポート体制も万全であること。その文化を醸成するのにどれほどの心血が注がれたのだろうと思いを馳せると同時に背筋が伸びました。

2週間の研修期間中、アカデミックで教育的な文化が実際の臨床へ還元されている素晴らしい環境に触れることができ、深く感じ入るものがありました。他にも、神奈川県内での経験しかない私にとって、異なる環境にいらっしゃる同じ世代の先生方と様々なこととお話しできたことは、場所は違っても多くの同志が悩みながらそれぞれ頑張っていることがわかり心強く感じるとともに、より一層精進しようと奮い立つ機会ともなりました。

今回の研修は、多くのことを学び、感じ、考えた大変充実した時間となりました。今回得られた経験や知見を活かし、聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科で大学人として、臨床・研究・教育を担えるように精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、かけがえのない時間とご縁をいただきました川井学先生をはじめ、肝胆膵チーム、和歌山県立医科大学外科学第2講座の皆様に変更してこの場をお借りして重ねて御礼申し上げます。また、このような素晴らしい機会を与えてくださった日本臨床外科学会の万代恭嗣会長ならびに国内外科研修委員会の高山忠利委員長をはじめとした国内研修委員会関係者のみなさま、ご推薦を頂きました聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の國場幸均先生、聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科の大坪毅人先生、快く送り出してくださいました当科教室員の先生方に心より御礼申し上げます。

